

開発途上国の社会課題解決に貢献したい 日本企業を支援します！

自社の準備段階に合う
支援制度を
活用してみたいな…

自社の製品・サービスは
開発途上国で
活かせるだろうか？

進出国を
検討しているけれど
どの様に絞ったらいいか…

ビジネスモデルを
検証したいが
人員も資金も足りない！

現地でのパートナー探しが
むずかしい…

年に1回
提案企業
募集！

企業の規模やビジネスの検討段階に応じた
2つの支援メニューを提供しています

1 ニーズ確認調査

上限 **1,500**万円
期間
上限
12か月

<対象企業> 中小企業／中堅企業、非営利法人、中小企業団体

ビジネスモデルの検証

対象国の基礎情報を収集し、開発途上国のニーズ、顧客ニーズと自社製品/サービスとの適合性を分析し、競争優位性を含めた初期的なビジネスモデル(市場規模の把握、顧客の特定、流通チャンネル等)を検証します。

2 ビジネス化実証事業

上限 **4,000**万円
期間
上限
2年6か月

<対象企業> 中小企業／中堅企業／大企業、非営利法人、中小企業団体

ビジネスプラン(事業計画)の策定

製品/サービスに対する顧客の受容性を確認した上で、現地パートナーを確保してビジネスモデルを策定。収益性の検証と製品/サービス提供体制・オペレーションを構築し、ビジネスプラン(事業計画)を策定します。

応募をご検討の方は、お気軽にご相談ください！

詳しくは
こちらへ

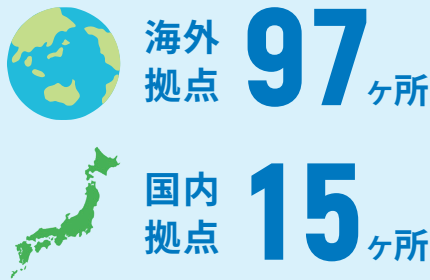


………… スケジュール(2025年度募集の例) ……………



JICA Bizの魅力

01 JICAの信頼とネットワーク



JICAが開発途上国と築いてきた信頼のもとで調査を実施できます。

02 JICAコンサルタントの伴走支援

- 開発途上国でのビジネス支援経験を有するコンサルタントが伴走支援
- 調査に必要な補助活動も含めてサポート



疑問や不安を解消しながらサポートします!

03 豊富な採択実績と高い事業継続率

累積採択数 **1,500** 件以上

- 事業終了後の約8割の企業がビジネス活動を継続中



…………… 県内企業の活用事例 ……………

事例1 株式会社 SOIK (読谷村)

ザンビアの産科医療の質向上を目指してデジタル健診技術のニーズを検証



現地に関係者向けセミナーを開催



妊産婦へのヒアリング

デジタル産科ソリューション「SPAQ」を開発した株式会社SOIKは、産科における母子の死亡率が高く、産前産後健診の受診率や医療サービスの質が低いザンビアへの導入を目指して、市場ニーズを確認する調査を実施しました。現地で活動する日本のNGO等と連携した母子保健サービスのデータ収集・分析や、市場およびターゲット顧客についての調査、製品の適合性の確認等を通して、持続的に大きなインパクトを生み出すためのビジネスモデルを検証しました。

調査期間 2024年4月～11月 対象国 ザンビア国

事例2 EF Polymer 株式会社 (恩納村)

メキシコの干ばつ問題の解決を目指して実証実験と市場調査を実施



EFポリマーは世界中で多くの賞を受賞



メキシコの実証実験場

世界で唯一、有機認定を取得した超吸水性ポリマーを開発したEF Polymer株式会社は、干ばつの影響により農作物の収量が減少しているメキシコの課題改善と同国での市場展開を目指しています。JICA Bizを活用して、メキシコ農業の干ばつ対策や肥料コスト削減、収量の増大につながるか等、実証実験を通して確認するほか、市場やステークホルダーの調査、現地の農作物残渣を活用した商品製造の検討を行い、具体的なビジネスモデルを検証します。

調査期間 2025年10月～2026年9月 対象国 メキシコ国



これまでの採択企業事例・報告書の検索／閲覧はこちら

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/index.php

